

防災ラジオドラマ

グループ「箕面自由学園放送部防災課」

タイトル「やってます 防災学習」

登場人物

みすず・・・16才、女性。社会のレポートを書くために万博館を見学してきた。学校で防災学習をしている。子どもが好きで面倒見がいい。

たくみ・・・16才、男性。万博に野外ライブをしにきた。学校で防災学習を受けている。

ゆうご・・・17才、男性。たくみといっしょに万博へ野外ライブをしにきた。学校で防災学習を受けている。

祖母・・・68才、女性。東京から観光に来ていて万博に立ち寄った。高校生に偏見を持っている。パニックになりやすい。

しょう・・・4才、男児。祖母に連れられて万博館に来た。

みちる・・・17才、女性。みすずの友達。

父・・・35才、男性。しょうの父。母である祖母と息子のしょうを万博へ連れてきた。

男2・・・26才、男性。万博館の係員。

男4・・・32才、男性。万博館の係員。

ナレーション

1月7日大阪北部 モノレールの中

みちる「あれー？美鈴、日曜に制服なんか着てどうしたん？てか、どこ行くん？」

みすず「あ、みちるー。ちよお、聞いて。冬休みの宿題やってへんくてさ、社会の森田に呼ばれてレポート出されてん」

みちる「うっわ、だるー」

みすず「なあ、一緒に万博着いて来てや。万博の博物館見学してレポート五枚も出さなあかんねん」

みちる「提出いつなん？」

みすず「一月十日？あさって。」

みちる「まー、がんばって！」

みすず「うわーもう嫌やー」

みちる「絶対ついてかへん！」

みすず「あーひどい」

みちる「あ、そういえばさ社会の森田が・・・」

祖母「大阪って電車の中も賑やかなのね」

父「母さん、これモノレールだから。まあ、女子高生はどこも一緒だよ。宇宙人だね」

祖母「近頃の学生は・・・」

しょう「パパー！おなかしゅいたー！」

おばさま「あらら。おなかすいてきたのねえ」

父「向こうで何か食べようか。母さん、万博初めてだろ。」

おばさま「そうねー。しょうちゃんのおかあさんには悪いけど、先に軽くたべちゃおうか」
ブリッジ

万博・国立民族博物館の中。

みすず「へー 中って結構ひろいんや。うっわなにあの仮面 でっかい」

たくみ「うっわー 外めっちゃ寒かったなあ。ゆうご、ナイスアイディア！」

ゆうご「やろ？今日は学生無料デー。ただでぬくぬくし放題！」

たくみ「この時期の野外ライブはきつついよな。なああっちのソファアでゲームしろ」

ゆうご「おねねてまいそー。おい、走んなよ。ジュースこぼれるやろ」

祖母「博物館でジュース。本当に高校生ってマナー悪いわよねえ」

「ほら、しょうちゃん、走っちゃだめよ。ほら、ばあばとお手手つないで」

しょう「うん」

父「母さん、外でて、里子に電話してくるわ。晩飯おそくでいいだろ？準備もあるだろうし」

祖母「はいはい」

男2「今日は3階収蔵室の横でせかいのこどもの遊びを体験してもらえますよ。よければどうぞ。」

おばさま「あらそう？いきましようか。○○

くん」

女子高校生1「へえー そうなんや。いつてみよ。」

グラグラ ガタガタ 地震発生

男2「にげろー！ー！！建物からはなれるんだー」

男4「崩れるぞー 外へ出ろ」

たくみ「あぶねっ」

ゆうご「おい、このガキ。あぶねーぞ。いいから手はなせ」

祖母「ちよつとなにすんの。○○

くん、かかえてどこいくのよーかえして！！」

たくみ「なんもせーへんわ。逃げるの時は子供はだっこ！がっこーでならったやろ」

ゆうご「おばちゃんは自分の身を守るとき」

みすず「ガラスから離れて！」

ゆうご「ちよつとおさまったかな。。。この先に収蔵室あるわ。いこー！」

みすず「うわ、また揺れてきた」

ゆうご「はよ！はいって！」

ゆうご「うわ壁崩れる」

収蔵庫の中。

みすず「とじこめられたかも」

たくみ「震度6の地震らしいな。しばらくじっとしとこう」

五時間経過。

祖母「冷えてきたわね」

しよの泣き声

ゆうご「はらへったー」

たくみ「電気つかんな・今何時？あれからどれだけ経ったんやろ？うわ、スマホバッテリー切れ」

ゆうご「あれから五時間やな。あ、俺の携帯、防災アプリ入ってる」

みすず「ほら泣かんときあ、うち 飴ちゃんあんねん。ハイ、どーぞ」

しよ「ありがとう」

祖母「ありがとうございます でもあなたの分が・・・」

みすず「いっぱいあるし！大丈夫」

祖母「どうでしょう・・・こんなことになるなんて」

たくみ「泣かんとき！泣いたら体力へんで」

ゆうご「なーこのチラシとかビニール使えるよな 手でこうやってもんで・・・」

ゆうご「おばちゃんこれ、このチラシ柔らかくしといたから服の中にでも入れといて。保温効果があんねんて。まずは落ち着いて

行動計画を立てようや」

祖母「しょうちゃんかわいそう。おびえちゃってるわ」

みすず「しょうちゃんお姉ちゃんのおひざにおいで こうやってキッズマサージしてあげたら落ち着くらしいで、防災の授業で習

ってん」

たくみ「これ、よかったら使ってください、一応、トイレってことで。ペットボトルを切つてさかさになると 完成」

ゆうご「あ、俺、これ作れるー」

たくみ「防災アプリも結構役に立つなあ」

みすず「しょうちゃん、寝ちゃいましたね」

祖母「ごめんなさい、あなたたちのこと、今どきの高校生はって・・・バカにしちゃってたけど・・・」

ゆうご「今のうちに伝言ダイヤルしときませんか？はぐれちゃった息子さんも心配してるやろうし。この収蔵室のことは消防に伝え

てますから気長に待ちましょう外出て寒い中歩いたりするよりここにいたほうがいいですよ」

祖母「あなた達、何でも知ってるのね」

みすず「あーうちの学校週一で防災の授業があるんですよ。そんなちゃんとはきいてなかったけど」

たくみ「たしかにうちもやってるわ」

ゆうご「意外に身についてる（笑）週一やからもう30回ぐらい授業うけてるしな 結構ダル〜かと思ってたけど・・・」

みすず「そりゃ授業のない大人よりは知ってますよ 防災心理学とかもあるし この建物耐震については安心らしいですよ」

ゆうご「うわ 思い出した。三学期一発目防災テストや」

たくみ「暇やし問題出す？」

B G M

みすず「やろやろ」

ゆうご「じゃあ、第一問、防災のときによく使われる『お・は・し』とはなんでしょうか？」
たくみ「押さない、走らない・・・し・・・しゃべらない！」

ゆうご「正解」

たくみ「じゃあ次俺が出すわ！！ビル街で地震が起きたの時、建物の中と外、どちらが安全でしょうか？」

祖母「うーん、外かしら？」

みすず「中じゃない？外じゃガラスが落ちて来て危ないやん」

たくみ「正解」

みすず「じゃあ、次はうちな。みんなが持つてる、災害時に必要なものってなんでしょう？」

たくみ「うーん」

祖母「うーん、何かしら？」

たくみ「あ、携帯！」

ゆうご「でも、そんなんバッテリー切れたら終わりやろ」

たくみ「じゃあ、なんやねん」

みすず「正解は『思いやり』！」

ゆうご・たくみ・祖母「ああ」

みんな「大正解！」